

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Immunol 38;647-657, 2008	CCL27-transgenic mice show enhanced contact hypersensitivity to Th2, but not Th1 stimuli	中村 晃一郎	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌 118;191-203, 2008	悪性黒色腫における超音波パワードプラ法の血流信号と腫瘍血管の免疫組織学的所見の関連についての検討	土田 哲也	皮膚科
日本泌尿器科学会雑誌 98;745-751, 2007	PlasmaKinetic (PK) systemを用いたTUR-Pの経験術後1年間の臨床経過	矢内原 仁	泌尿器科
Japanese Journal of Endourology and ESWL 20;260-266, 2007	泌尿器科外来における膀胱鏡の洗浄・消毒・滅菌に必要なコストの検討 標準的工程の提示とともに	矢内原 仁	泌尿器科
腫瘍内科 1;618-622, 2007	乳癌の髄膜転移に対するトラスツズマブカペシタビンの併用療法が奏効した1例	大崎 昭彦	乳腺腫瘍科
Perit Dial Intern 27 Suppl 2 ;S21-S26, 2007	Telemedicine system for patients on continuous ambulatory peritoneal dialysis	中元 秀友	総合診療内科
日本顎関節学会誌 19;33-37, 2008	紹介患者からみる顎関節症の鑑別診断に関する実態調査	安部 貴大	歯科・口腔外科
日本口腔粘膜学会雑誌 13;16-25, 2007	口腔水分計の至適測定方法に関する実験的検討	福島 洋介	歯科・口腔外科
Int J Dent Hyg 6;63-67, 2008	A randomized controlled trial assessing the effectiveness of professional oral care by dental hygienists	佐藤 毅	歯科・口腔外科
Hospital Dentistry & Oral Maxillofacial Surgery 20;167-169, 2007	A study on Preoperative Autologous Blood Donation Volume in Orthognathic Surgery	坂田 康彰	歯科・口腔外科

計 10

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。
- 3 雑誌名には、Vol、頁、発表年を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔診断学会誌 21;49-54, 2007	骨破壊を呈した顎放射線菌症の1例	安部 貴大	歯科・口腔外科
日本有病者歯科医療学会誌 16;43-48, 2007	舌, S字結腸, 肺に生じた同時性3重複癌の1例	田口 茂和	歯科・口腔外科
口腔顎顔面外傷学会誌 6;13-18, 2007	矯正用アンカースクリューを固定源として整復した歯槽骨骨折の一例	中澤 麻有子	歯科・口腔外科
Acta Cytol 51;900-906, 2007	Qualitative and quantitative analysis of cytologic assessment of astrocytoma, oligodendroglioma and oligoastrocytoma.	廣瀬 隆則	病理学
Ultrastructural Pathology 31;233-239, 2007	Ossifying fibromyxoid tumor: Invariable ultrastructural features and diverse immunophenotypic expression.	廣瀬 隆則	病理学

計 5
合計 161

- 注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。
- 3 雑誌名には、Vol、頁、発表年を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 片山 茂裕			
管理担当者氏名	医務部長 薬剤部長 利用者苦情相談室長	奥富 篁幸 江草 利昭 斉藤 喜博	総務部長 医療安全対策室長	茂木 明 金澤 實

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌 処方せん、手術記録、看護記録、 検査所見記録、エックス線写真、 紹介状、退院した患者に係る入院 期間中の診療経過の要約及び入院 診療計画書		診療情報管理室 医務部庶務課	入院・外来診療録とも電子カルテで管 理している。 X-Pフィルムは、フィルム保管庫及 びCR化にて一括管理している。
病院の管 理及び運 営に関す る諸記録	従業者数を明らかにする 帳簿	総務部人事課	/
	高度の医療の提供の実績	医務部	
	高度の医療技術の開発及 び評価の実績	医務部	
	高度の医療の研修の実績	医務部	
	閲覧実績	医務部	
	紹介患者に対する医療提 供の実績	医務部	
	入院患者数、外来患者及 び調剤の数を明らかにす る帳簿	医務部 薬剤部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	確規保則の第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全対策室 利用者苦情相談室	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

		保 管 場 所	分 類 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室
		従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の況	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	MEサービス部	/
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEサービス部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEサービス部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	MEサービス部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医務部長 奥富 篁幸
閲覧担当者氏名	医務部長 奥富 篁幸 総務部長 茂木 明 薬剤部長 江草 利昭
閲覧の求めに応じる場所	医務部、総務部、薬剤部

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 7 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 7 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	43.2%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算	A：紹介患者の数		13,125 人
出	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,661 人
根	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,339 人
拠	D：初診患者の数		44,865 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

①専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1) 名・無
②専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1) 名・無
③医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (8) 名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>大学病院医療安全対策室規則に定める以下の業務を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全対策委員会の資料及び議事録の作成ならびに保存、庶務に関する事項 2. 事故発生時の対応状況についての確認 3. 医療安全に係る連絡調整ならびに医療安全推進活動 4. 医療安全対策の企画，立案，実施，評価，記録 5. 医療安全に係る事項についての大学病院各部及び各委員会との調整 6. 医療安全に関連する委員会の議事録，資料の作成ならびに保存 7. 事故等が発生した場合、診療録や看護記録等への記載状況の確認 8. 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認 	
④当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理指針：平成14年11月19日制定 大学病院の医療安全対策に関する基本姿勢ならびに方針を明確にし、職員に周知を図ることにより安全文化の構築を期待するものである。本指針は患者からの相談への対応に関する指針および、事故等発生時の公表指針も含まれ、また患者・家族の開示請求にも応じる。 2. 診療基本マニュアル第9版：平成18年4月1日一刷（平成10年5月6日，初版一刷） 大学病院における診療の基本姿勢を中心に掲載したマニュアルで、机上版のほかマニュアルの要点をまとめたポケット版がある。机上版は、院内各部署に常備されている「埼玉医科大学病院マニュアル集」に収録し、ポケット版は全教職員に貸与し常時携行を要請している。内容は、「診療の基本姿勢」「正しい保険診療」「医療安全の基本」「医療安全対策；総論」「医療安全対策：各論」「問題発生時等への対応」の六章から構成されている。内容は、定期開催（月2回）される診療基本マニュアル編集会議において検討し、必要事項は随時追補している。 3. 埼玉医科大学病院マニュアル集 全職員が周知しておくべき診療サービス等に係る基準，手順等を収録している。大学病院マニュアル集は、定期的に加除整理をおこなっている。マニュアル集の主な収録内容は次の通りである。診療基本マニュアル机上版，消毒薬使用指針，麻薬管理マニュアル，向精神薬管理マニュアル，褥瘡対策マニュアル，感染性廃棄物取扱手順書，医療ガス保守点検指針，指定施設等不在者投票処理要領，輸血の手順， 4. その他のマニュアル 各マニュアルは、所掌する院内委員会等において診療基本マニュアルとの内容の整合性を検証した上で編集され、関係部署へ常備されている。主なマニュアルは以下の通りである。 電子カルテ運用マニュアル - 全5編 - (情報システム室)，放射線科診療安全マニュアル (中央放射線部)，薬剤業務手順書 (薬剤部)，製剤室業務マニュアル (薬剤部)，看護基準・手順 (看護部)，診療記録等の開示実施マニュアル (医療情報提供委員会)，災害対策マニュアル (施設部)，血液浄化マニュアル (血液浄化部)，医療機器安全管理指針 (中央機材室・MEサービス部)，学校法人埼玉医科大学規程集 	